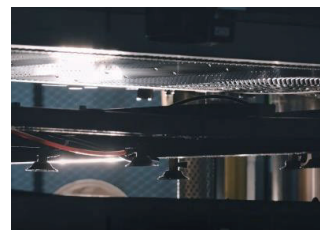


証券コード：6247

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

2023年3月期 第2四半期 決算説明会 資料



2022年12月1日

株式会社 日阪製作所



目次

■ 会社概要	・ ・ ・	2
■ 2023年3月期第2四半期決算の概要	・ ・ ・	4
■ 2023年3月期決算の見通し	・ ・ ・	15
■ 中期経営計画「 G-20 」の概要	・ ・ ・	20
■ 中期経営計画「 G-20 」取り組み施策	・ ・ ・	26

会社概要

社名 **株式会社 日阪製作所**

創業年月 1942年5月（昭和17年5月） 創業80周年



事業内容 産業機械製造販売業（熱交換器、蒸発・蒸留・凝縮装置、染色仕上機器、食品機器、医薬機器、ボールバルブなど）、発電事業

資本金 41億5千万円

発行済株式総数 32,732,800株

株式上場 東京証券取引所 プライム市場

売上高 300億円（連結／2022年3月期）

従業員数 919名（連結／2022年3月末）

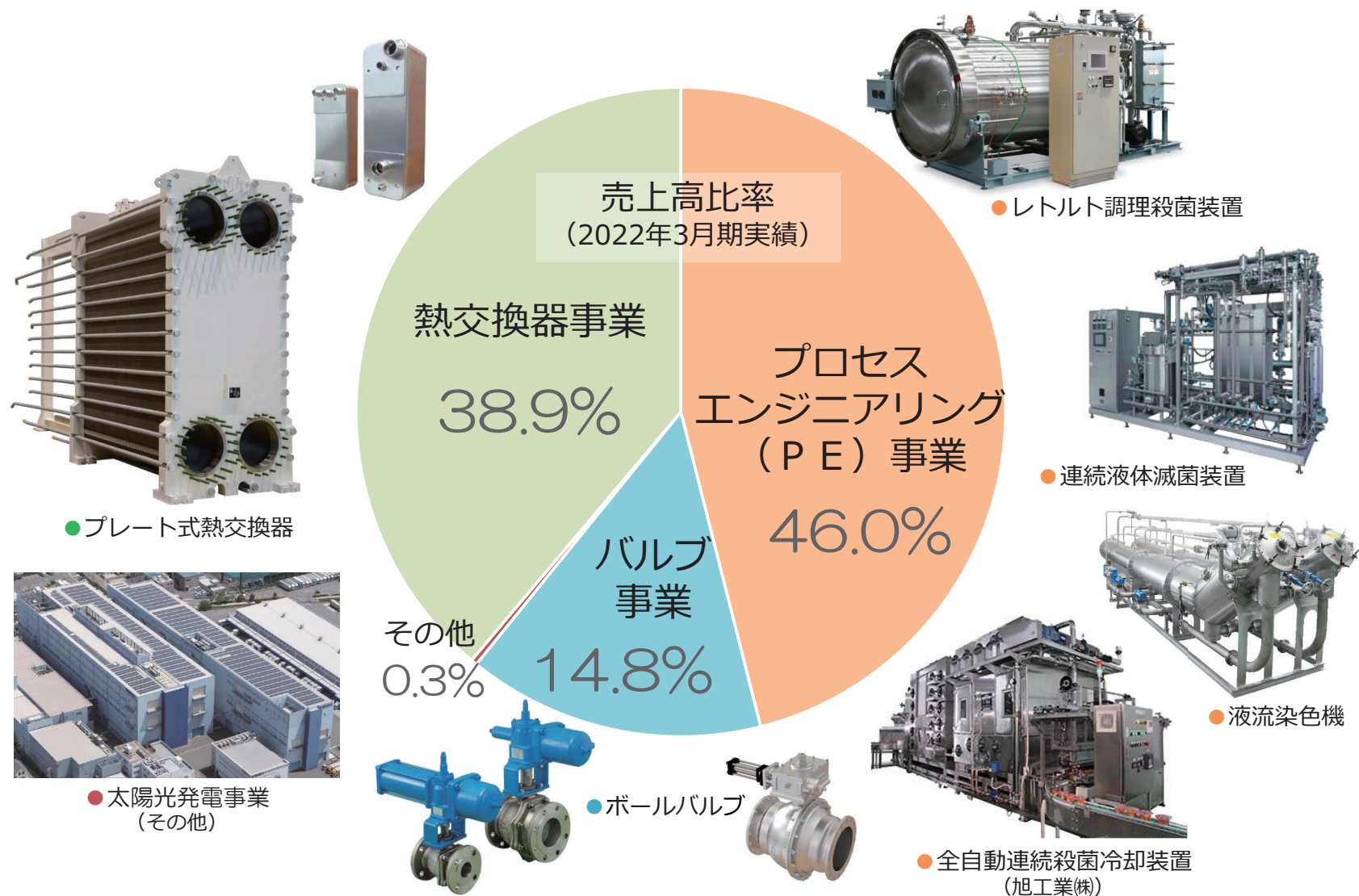
関係会社数 11社（海外関係会社含む）

国内拠点 大阪本社、鴻池事業所、青梅事業所
東京・名古屋・九州・北九州支店、北海道・さいたま・千葉・尾道営業所

海外拠点 マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイ、シンガポール、インドネシア、中国、サウジアラビア、韓国

※2022年4月4日現在

日阪グループの事業構成





2023年3月期第2四半期 決算の概要

1-①. 決算の概要（前期比）

(百万円)

	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	17,307	—	16,771	—	▲ 536	▲ 3.1%
うち、海外受注高	4,136		4,248		111	2.7%
売上高	13,961	—	15,555	—	1,593	11.4%
うち、海外売上高	1,889		3,042		1,152	61.0%
営業利益	701	5.0%	1,021	6.6%	320	45.7%
経常利益	937	6.7%	1,375	8.8%	438	46.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	689	4.9%	897	5.8%	207	30.1%

1-②. 決算の概要（計画比）

(百万円)

	2023年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期 計画比			
	計画	利益率	実績	利益率	差額	達成率
受注高	17,750	—	16,771	—	▲ 978	94.5%
売上高	16,200	—	15,555	—	▲ 644	96.0%
営業利益	950	5.9%	1,021	6.6%	71	107.6%
経常利益	1,150	7.1%	1,375	8.8%	225	119.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	800	4.9%	897	5.8%	97	112.2%

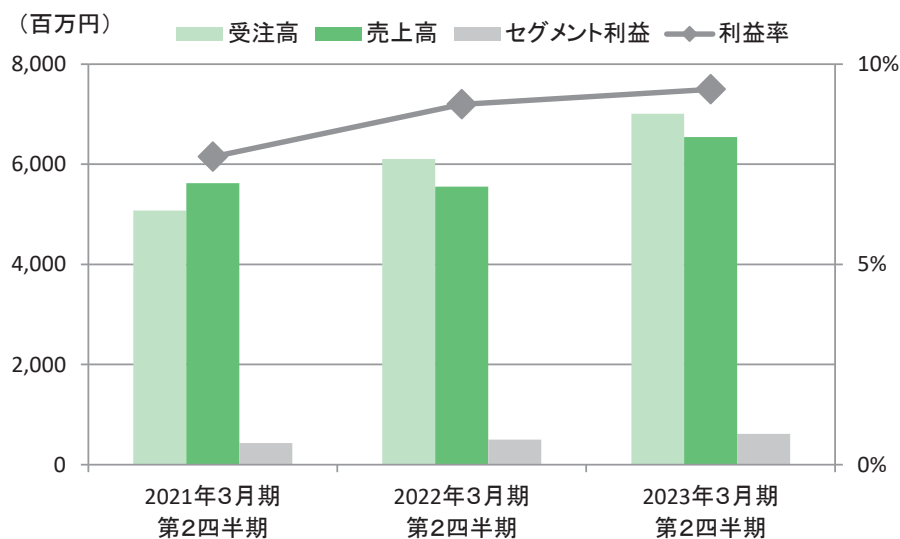
2-①. 熱交換器事業(対前年同期)

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

(百万円)

	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	6,104	—	7,006	—	901	14.8%
うち、海外受注高	1,611		1,694		83	5.2%
売上高	5,551	—	6,542	—	990	17.8%
うち、海外売上高	1,145		1,511		365	31.9%
セグメント利益	499	9.0%	613	9.4%	113	22.8%



<受注高>

- 半導体や空調向けの中小型汎用品が好調
- メンテナンスが好調

<売上高>

- 受注同様に中小型汎用品、メンテナンスが好調
- 前年度、受注が好調の船舶向けが増加

<セグメント利益>

- 売上高の増加

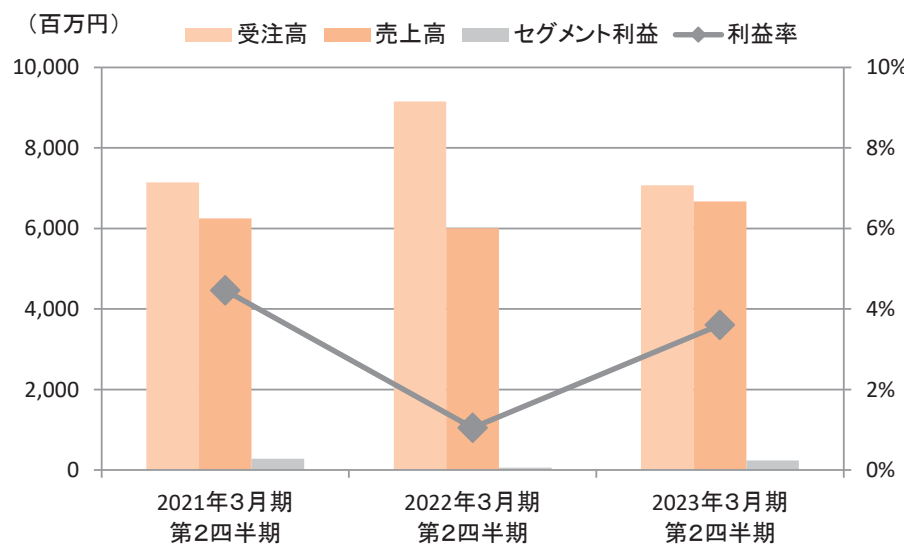
2-②. プロセスエンジニアリング事業(対前年同期)

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

(百万円)

	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	9,153	—	7,069	—	▲ 2,083	▲ 22.8%
うち、海外受注高	2,293		2,012		▲ 280	▲ 12.2%
売上高	6,006	—	6,673	—	666	11.1%
うち、海外売上高	380		1,222		842	221.5%
セグメント利益	63	1.1%	240	3.6%	177	280.9%



<受注高>

- × 前年同期に医薬機器の大口案件を受注した反動減
- × 食品機器において顧客の設備投資の見直しや延期
- 海外向けに染色仕上機器の大口案件を受注

<売上高>

- 国内及び中国向けに染色仕上機器の大口案件
- 大口の液体殺菌装置、大型調製設備などを納入

<セグメント利益>

- 売上高の増加
- 引当金の戻し入れ

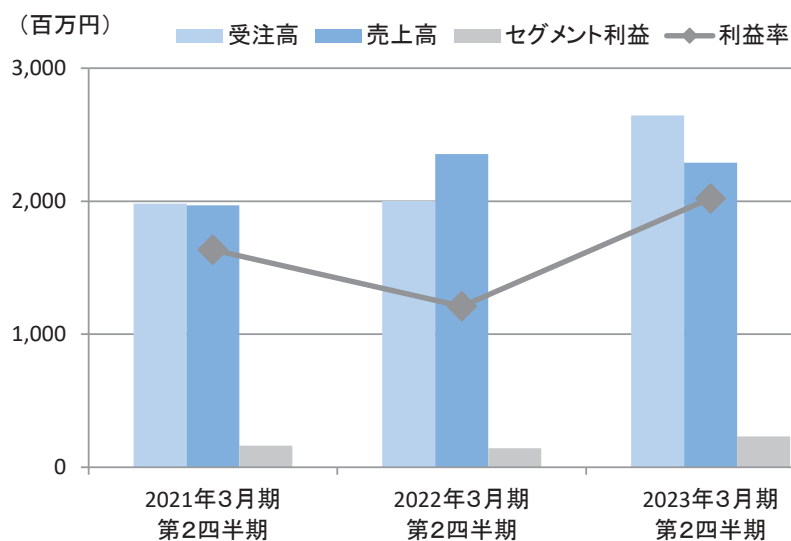
2-③. バルブ事業(対前年同期)

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

(百万円)

	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	2,002	—	2,646	—	644	32.2%
うち、海外受注高	232		541		308	133.1%
売上高	2,356	—	2,291	—	▲ 64	▲ 2.8%
うち、海外売上高	363		308		▲ 55	▲ 15.3%
セグメント利益	142	6.0%	231	10.1%	89	62.5%



<受注高>

- 部材確保の動きなどから引き合いが増加
- 海外の化学向けに大口案件を受注

<売上高>

- × 前年同期にあった化学向け大口案件の反動減
- 足元の受注は堅調に推移
- チョコレート業界向けの売上が増加

<セグメント利益>

- 低採算案件の減少

3-①. セグメント別の業績（受注高、売上高）

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	6,104	35.3%	7,006	41.8%	901	14.8%
プロセスエンジニアリング事業	9,153	52.9%	7,069	42.1%	▲ 2,083	▲ 22.8%
バルブ事業	2,002	11.5%	2,646	15.8%	644	32.2%
その他	47	0.3%	48	0.3%	1	3.1%
受注高	17,307	100%	16,771	100%	▲ 536	▲ 3.1%
熱交換器事業	5,551	39.8%	6,542	42.1%	990	17.8%
プロセスエンジニアリング事業	6,006	43.0%	6,673	42.9%	666	11.1%
バルブ事業	2,356	16.9%	2,291	14.7%	▲ 64	▲ 2.8%
その他	47	0.3%	48	0.3%	1	3.1%
売上高	13,961	100%	15,555	100%	1,593	11.4%

3-②. セグメント別の業績（営業利益、受注残高）

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

（百万円）

	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	499	67.4%	613	54.7%	113	22.8%
プロセスエンジニアリング事業	63	8.5%	240	21.5%	177	280.9%
バルブ事業	142	19.3%	231	20.6%	89	62.5%
その他	35	4.8%	36	3.2%	0	2.4%
小計	740	100%	1,121	100%	381	51.5%
調整額	▲ 39	—	▲ 100	—	▲ 60	—
営業利益	701	—	1,021	—	320	45.7%
熱交換器事業	3,683	21.1%	4,673	23.5%	989	26.9%
プロセスエンジニアリング事業	12,644	72.5%	13,788	69.3%	1,144	9.1%
バルブ事業	1,109	6.4%	1,444	7.2%	335	30.3%
その他	—	—	—	—	—	—
受注残高	17,436	100%	19,906	100%	2,470	14.2%

3-③. セグメント別の業績（計画比）

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

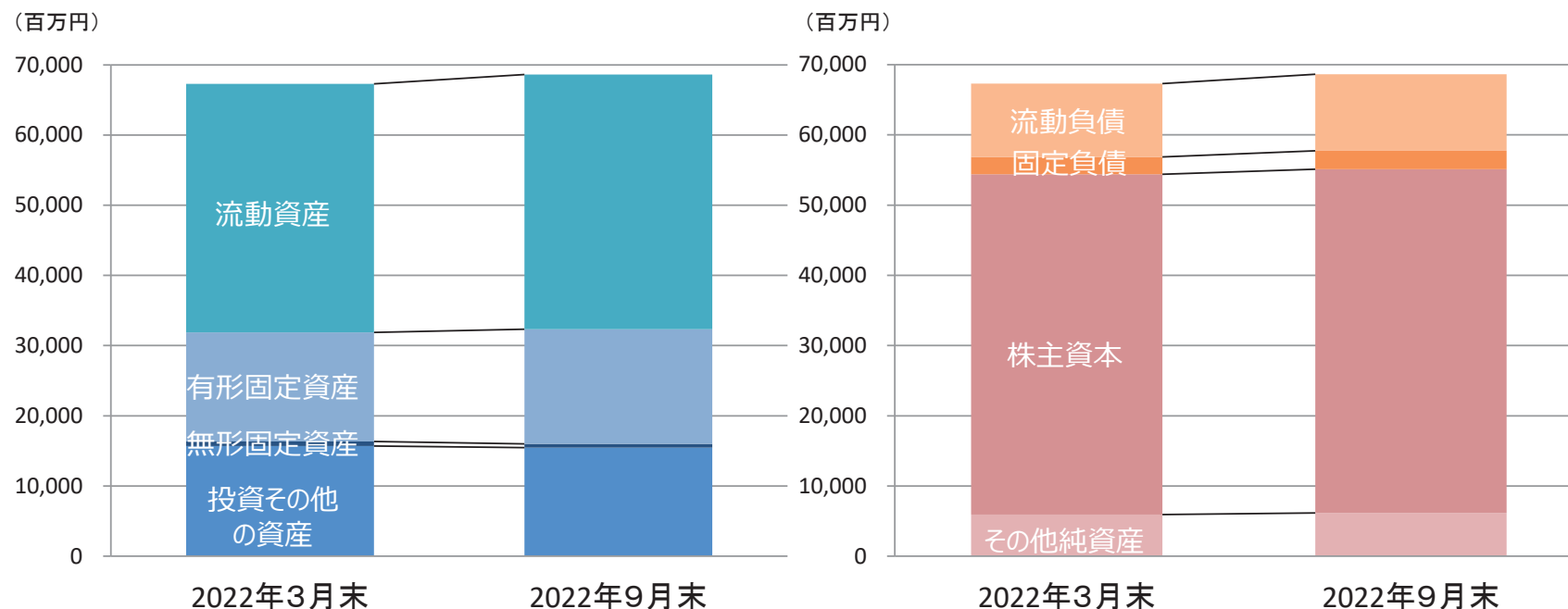
（百万円）

	2023年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		計画比	
	計画	構成比	実績	構成比	差額	達成率
熱交換器事業	6,700	37.7%	7,006	41.8%	306	104.6%
プロセスエンジニアリング事業	8,700	49.0%	7,069	42.1%	▲ 1,630	81.3%
バルブ事業	2,300	13.0%	2,646	15.8%	346	115.1%
その他	50	0.3%	48	0.3%	▲ 1	97.1%
受注高	17,750	100%	16,771	100%	▲ 978	94.5%
熱交換器事業	6,300	38.9%	6,542	42.1%	242	103.8%
プロセスエンジニアリング事業	7,700	47.5%	6,673	42.9%	▲ 1,026	86.7%
バルブ事業	2,150	13.3%	2,291	14.7%	141	106.6%
その他	50	0.3%	48	0.3%	▲ 1	97.1%
売上高	16,200	100%	15,555	100%	▲ 644	96.0%
熱交換器事業	520	49.5%	613	54.7%	93	117.9%
プロセスエンジニアリング事業	370	35.2%	240	21.5%	▲ 129	65.1%
バルブ事業	130	12.4%	231	20.6%	101	178.2%
その他	30	2.9%	36	3.2%	6	121.2%
小計	1,050	100%	1,121	100%	71	106.8%
調整額	▲ 100	—	▲ 100	—	0	—
営業利益	950	—	1,021	—	71	107.6%

4. 資産・負債・純資産の状況

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA



	2022年3月末	2022年9月末	増減額
流動資産	35,404	36,278	873
有形固定資産	15,562	16,365	802
無形固定資産	627	532	▲ 95
投資その他の資産	15,707	15,456	▲ 250
固定資産合計	31,897	32,353	455
資産合計	67,302	68,632	1,329

	2022年3月末	2022年9月末	増減額
流動負債	10,442	10,880	438
固定負債	2,481	2,638	156
負債合計	12,924	13,519	595
株主資本	48,457	48,966	508
その他純資産	5,920	6,146	225
純資産合計	54,378	55,112	734
負債純資産合計	67,302	68,632	1,329

5. キャッシュ・フローの状況

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

	2022年3月期 第2四半期	(百万円) 2023年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,123	▲ 531
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 396	▲ 681
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 437	▲ 432
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	101
現金及び現金同等物の増減額	315	▲ 1,543
現金及び現金同等物の期首残高	13,922	16,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,237	14,598



2023年3月期 決算の見通し

6. 通期計画の概要

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

	2022年3月期 通期		2023年3月期 通期				(百万円)	
	実績	利益率	計画	利益率	増減額	増減率	実績	達成率
受注高	34,685	—	35,500	—	814	2.3%	16,771	47.2%
売上高	30,085	—	34,500	—	4,414	14.7%	15,555	45.1%
営業利益	1,819	6.0%	2,500	7.2%	680	37.4%	1,021	40.9%
経常利益	2,270	7.5%	2,800	8.1%	529	23.3%	1,375	49.1%
親会社株主に帰属する 当（四半）期純利益	2,058	6.8%	2,230	6.5%	171	8.3%	897	40.2%

※2023年3月期第3四半期より、政策保有株式の一部縮減を実施しており、縮減による投資有価証券売却益として特別利益が見込まれることから、親会社株主に帰属する当期純利益が当初計画を上回る見通しとなりました。
また、これらの理由に加え、当第2四半期累計期間に計上しました特別損益を反映し親会社株主に帰属する当期純利益を当初計画（2022年5月13日公表）より、290百万円上方修正いたしました。

7. セグメント別の見通し

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

(百万円)

	2022年3月期 通期		2023年3月期 通期				2023年3月期 第2四半期	
	実績	構成比	計画	構成比	増減		実績	達成率
					増減額	増減率		
熱交換器事業	12,769	36.8%	13,400	37.7%	630	4.9%	7,006	52.3%
プロセスエンジニアリング事業	17,748	51.2%	17,400	49.0%	▲ 348	▲ 2.0%	7,069	40.6%
バルブ事業	4,077	11.7%	4,600	13.0%	522	12.8%	2,646	57.5%
その他	89	0.3%	100	0.3%	10	11.5%	48	48.6%
受注高	34,685	100%	35,500	100%	814	2.3%	16,771	47.2%
熱交換器事業	11,691	38.9%	13,000	37.7%	1,308	11.2%	6,542	50.3%
プロセスエンジニアリング事業	13,853	46.0%	16,900	49.0%	3,046	22.0%	6,673	39.5%
バルブ事業	4,451	14.8%	4,500	13.0%	48	1.1%	2,291	50.9%
その他	89	0.3%	100	0.3%	10	11.5%	48	48.6%
売上高	30,085	100%	34,500	100%	4,414	14.7%	15,555	45.1%
熱交換器事業	1,201	61.9%	1,320	48.5%	118	9.9%	613	46.4%
プロセスエンジニアリング事業	352	18.2%	1,070	39.4%	717	203.2%	240	22.5%
バルブ事業	321	16.6%	270	9.9%	▲ 51	▲ 15.9%	231	85.8%
その他	64	3.3%	60	2.2%	▲ 4	▲ 7.6%	36	60.6%
小計	1,940	100%	2,720	100%	779	40.2%	1,121	41.2%
調整額	▲ 120	—	▲ 220	—	▲ 99	—	▲ 100	—
営業利益	1,819	—	2,500	—	680	37.4%	1,021	40.9%

8. 設備投資・減価償却の状況

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

(百万円)

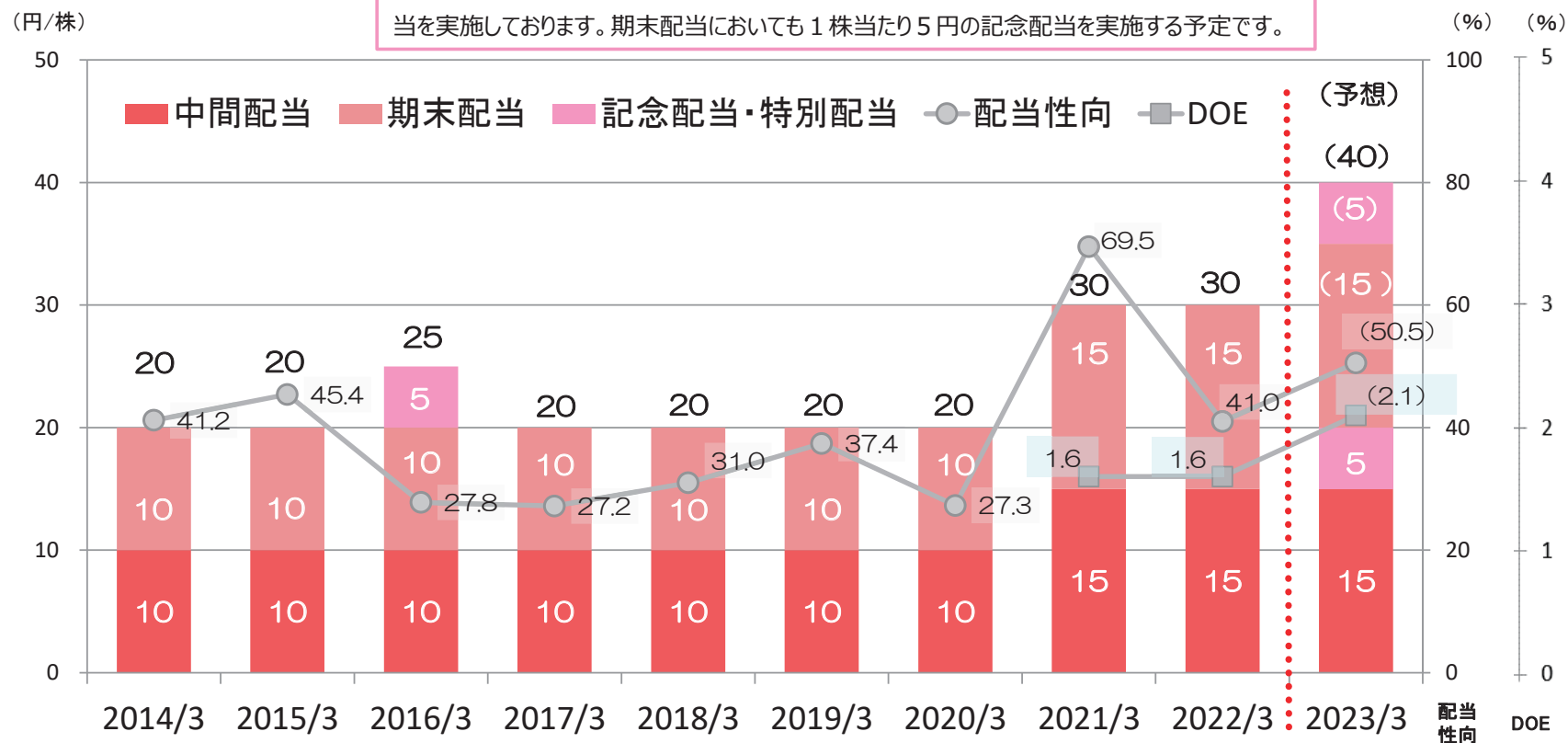
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	
	実績	実績	実績	上期実績	計画
設備投資	3,260	1,424	1,757	1,176	5,500
内容	熱交換器事業のソフトウェア、青梅事業所工場建設、生駒事業所の事業用地取得 など	熱交換器事業のソフトウェア、プロセスエンジニアリング事業・バルブ事業の機械設備、生駒事業所の造成工事 など	各事業の機械設備や金型の更新、生駒事業所の造成工事 など	熱交換器事業の生産能力増強及びソフトウェア、プロセスエンジニアリング事業の設備更新、バルブ事業の金型、生駒事業所の建築工事 など	
減価償却	1,137	997	1,130	518	1,160

9. 配当の計画

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

創立80周年を記念し、2023年3月期第2四半期末配当において1株当たり5円の記念配当を実施しております。期末配当においても1株当たり5円の記念配当を実施する予定です。



【利益配分の基本方針】

全てのステークホルダーの皆様に対し「公平」且つ「公正」を念頭に置きつつ、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に対する適正な利益の還元を基本方針としています。具体的には、内部留保とのバランスを考慮しつつ、連結純資産及び連結業績の状況を勘案し、**連結純資産配当率(DOE)1.5%以上**を目途に継続的・安定的な配当に努めます。



中期経営計画 「G-20」の概要

10-①. 「G-20」ビジョン、スローガン

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

2020年度～2022年度 中期経営計画

G-20

Growth Governance
Global Goal

ビジョン

一人ひとりの挑戦で、事業の発展と共に
活力のある社員集団を実現する

スローガン

新たな取り組みで新たな価値を創造し、
圧倒的な存在感No. 1 企業を
全員で実現しよう！

日版製作所「G-20」中期ビジョン

一人ひとりの挑戦で、
事業の発展と共に
活力のある社員集団を実現する

変わろう、変えよう！

Change makes Change



日版製作所「G-20」スローガン

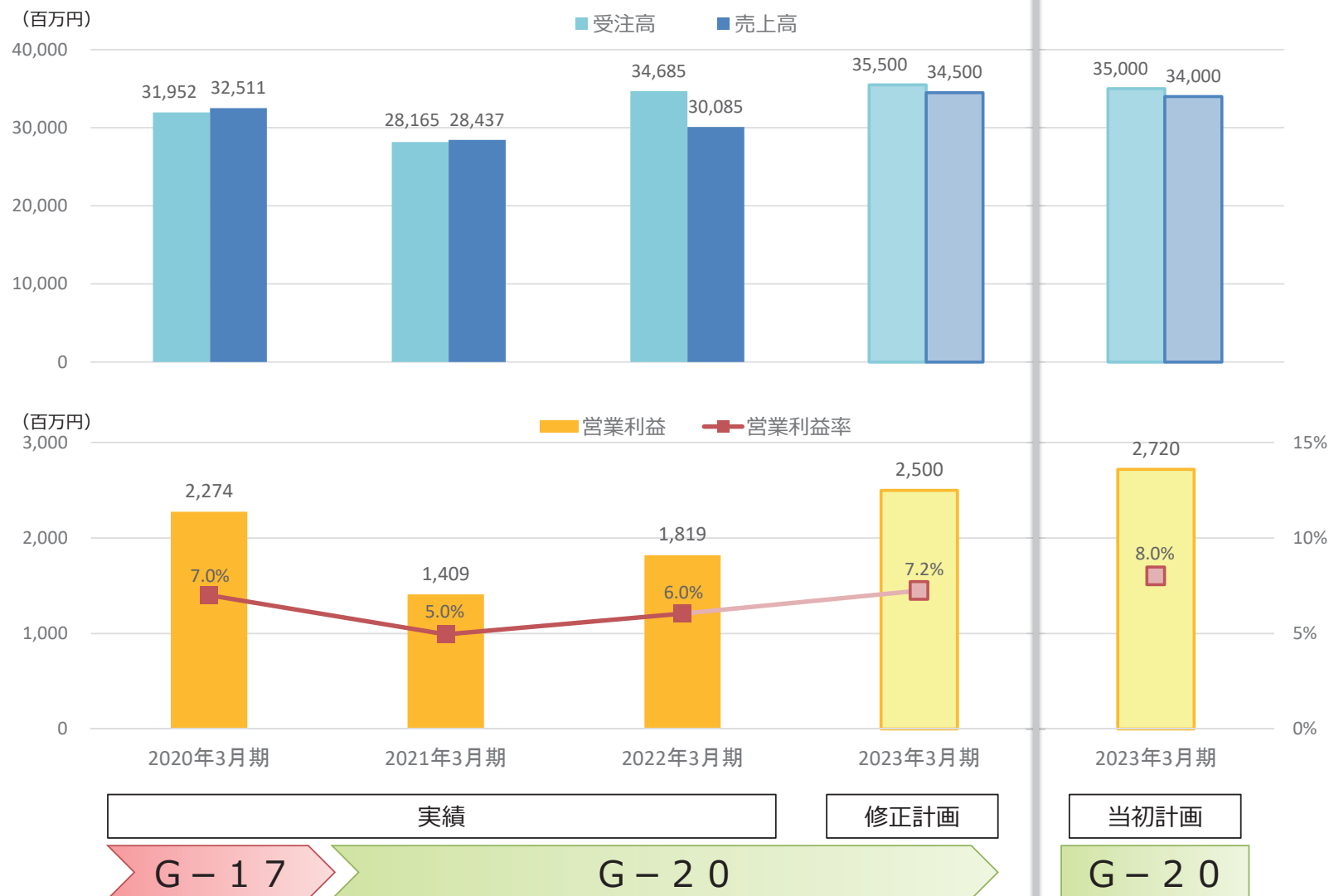
圧倒的な存在感No. 1 企業
新たな価値の創造
Value Creation

新たな取り組みで新たな価値を創造し、
圧倒的な存在感No. 1 企業を
全員で実現しよう！

10-②. 「G-20」連結業績推移

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA



10-③. 「G-20」連結業績目標

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

(百万円)

	G－17 最終年度	G－20目標				増減率 B - A A
	2020年 3月期 実績 A	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 修正計画 B 当初計画		
受注高	31,952	28,165	34,685	35,500	35,000	11.1%
売上高	32,511	28,437	30,085	34,500	34,000	6.1%
営業利益	2,274	1,409	1,819	2,500	2,720	9.9%
営業利益率	7.0%	5.0%	6.0%	7.2%	8.0%	+ 0.2pt
経常利益	2,573	1,765	2,270	2,800	2,920	8.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,080	1,212	2,058	2,230	2,000	7.2%
ROE	4.1%	2.3%	3.8%	4.0%	3.8%	▲ 0.1pt

※：増減率は「G-17」2020年3月期と「G-20」2023年3月期（修正計画）の比較です。

※：2020年3月期は特別利益により当期純利益が増加したことにより、ROEが高水準となっております。

10-④. セグメント別業績目標

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

(百万円)

	G-17 最終年度 2020年3月期		G-20 最終年度 2023年3月期				増減	
	実績	構成比	修正計画	構成比	当初計画	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	12,368	38.7%	13,400	37.7%	13,200	37.6%	1,031	8.3%
プロセスエンジニアリング事業	14,981	46.9%	17,400	49.0%	17,400	49.6%	2,418	16.1%
バルブ事業	4,524	14.2%	4,600	13.0%	4,400	12.5%	75	1.7%
その他	78	0.2%	100	0.3%	100	0.3%	21	27.8%
小計	31,952	100%	35,500	100%	35,100	100%	3,547	11.1%
調整額	—	—	—	—	▲ 100	—	—	—
受注高	31,952	—	35,500	—	35,000	—	3,547	11.1%
熱交換器事業	12,041	37.0%	13,000	37.7%	12,800	37.5%	958	8.0%
プロセスエンジニアリング事業	15,957	49.1%	16,900	49.0%	16,900	49.6%	942	5.9%
バルブ事業	4,434	13.6%	4,500	13.0%	4,300	12.6%	65	1.5%
その他	78	0.3%	100	0.4%	100	0.3%	21	27.8%
小計	32,511	100%	34,500	100%	34,100	100%	1,988	6.1%
調整額	—	—	—	—	▲ 100	—	0	—
売上高	32,511	—	34,500	—	34,000	—	1,988	6.1%
熱交換器事業	887	37.3%	1,320	48.5%	1,200	41.5%	432	48.7%
プロセスエンジニアリング事業	975	41.1%	1,070	39.4%	1,300	45.0%	94	9.7%
バルブ事業	471	19.8%	270	9.9%	350	12.1%	▲ 201	▲ 42.7%
その他	43	1.8%	60	2.2%	40	1.4%	16	39.2%
小計	2,377	100%	2,720	100%	2,890	100%	342	14.4%
調整額	▲ 103	—	▲ 220	—	▲ 170	—	▲ 116	—
営業利益	2,274	—	2,500	—	2,720	—	225	9.9%

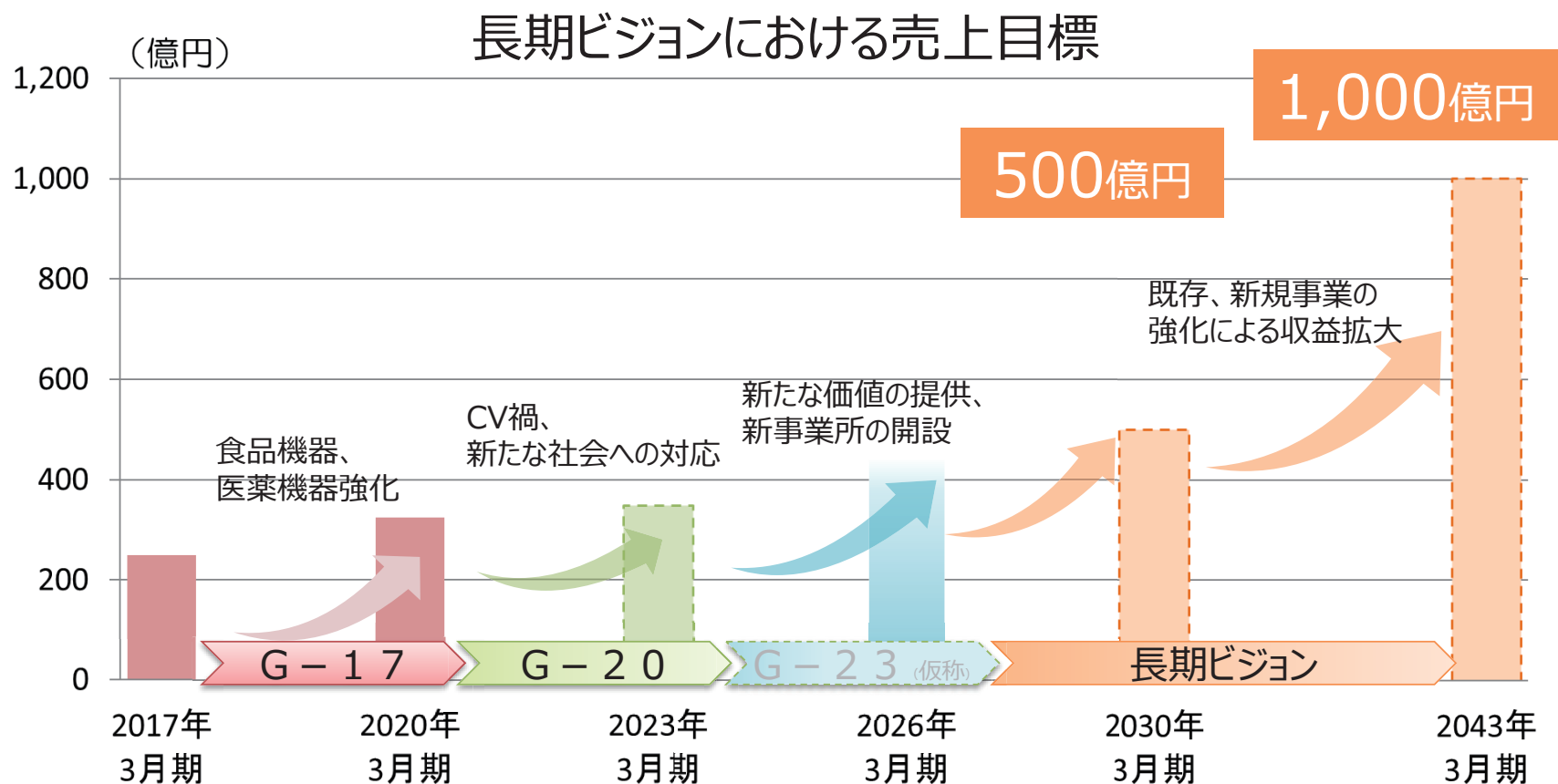
※：増減は「G-17」2020年3月期と「G-20」2023年3月期（修正計画）の比較です。

11. 長期売上目標

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

長期目標（2043年3月期（創業100周年）売上高1,000億円）に向け、現中期経営計画G-20の達成、次期中計G-23（仮称）策定を進める





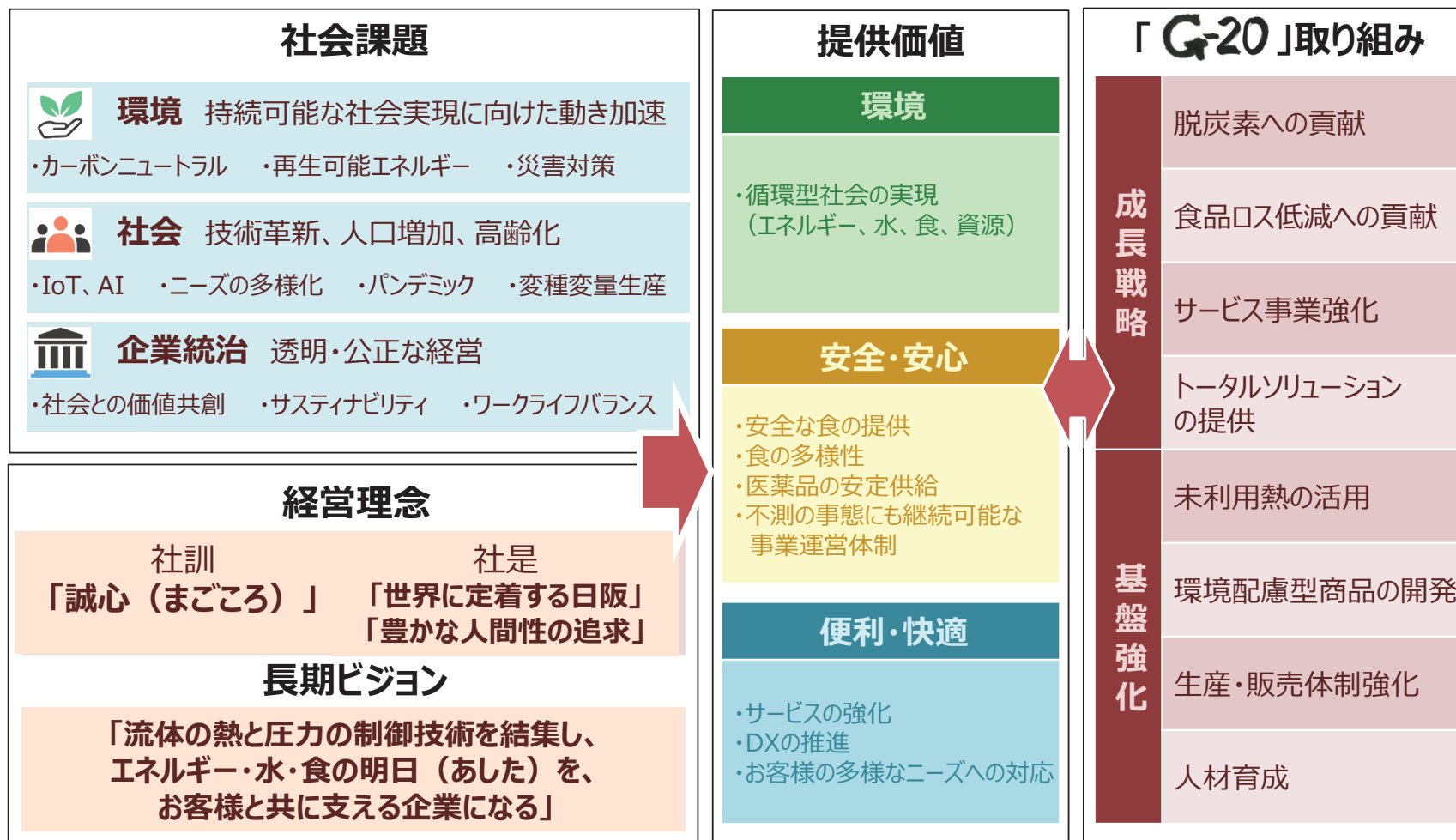
中期経営計画 「G-20」 主な取り組み施策

12-①.「G-20」取り組み指針

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

様々な社会課題に対して当社の価値を提供し、持続可能な社会の実現に貢献する。



12-②. 「G-20」当社が取り組む領域

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

※後ほど詳細を説明



13. 当社を取り巻く大きな社会トレンド

■カーボンニュートラル社会の実現に向けた当社製品の貢献



- CCUSの普及拡大に向けてCO₂回収の実証施設が稼働するなど各種施策が進展。
- 石油・石炭の代替としてLNG需要が増加。世界のLNG運搬船の発注が過去最多を記録。

CO₂回収設備、水素製造装置、地熱発電所、LNG船、**ヒートポンプ**など

■食品、医薬品の安全・安心への貢献



- ライフスタイルの変化などにより、加工食品の需要が増加
- 医薬品安定供給のための製薬メーカーへの補助金制度により設備投資が増加。

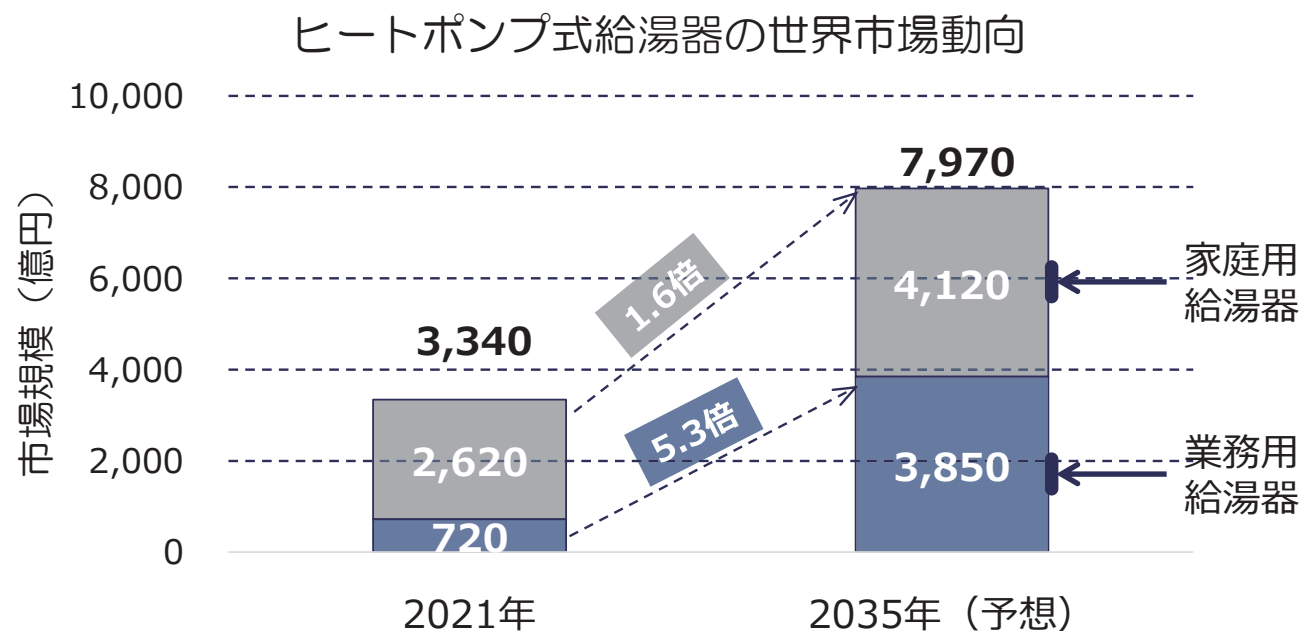
食品：**殺菌装置** 濃縮装置など
医薬：滅菌装置、培養装置、濃縮装置など

14-①. ヒートポンプ市場の拡大(世界)

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

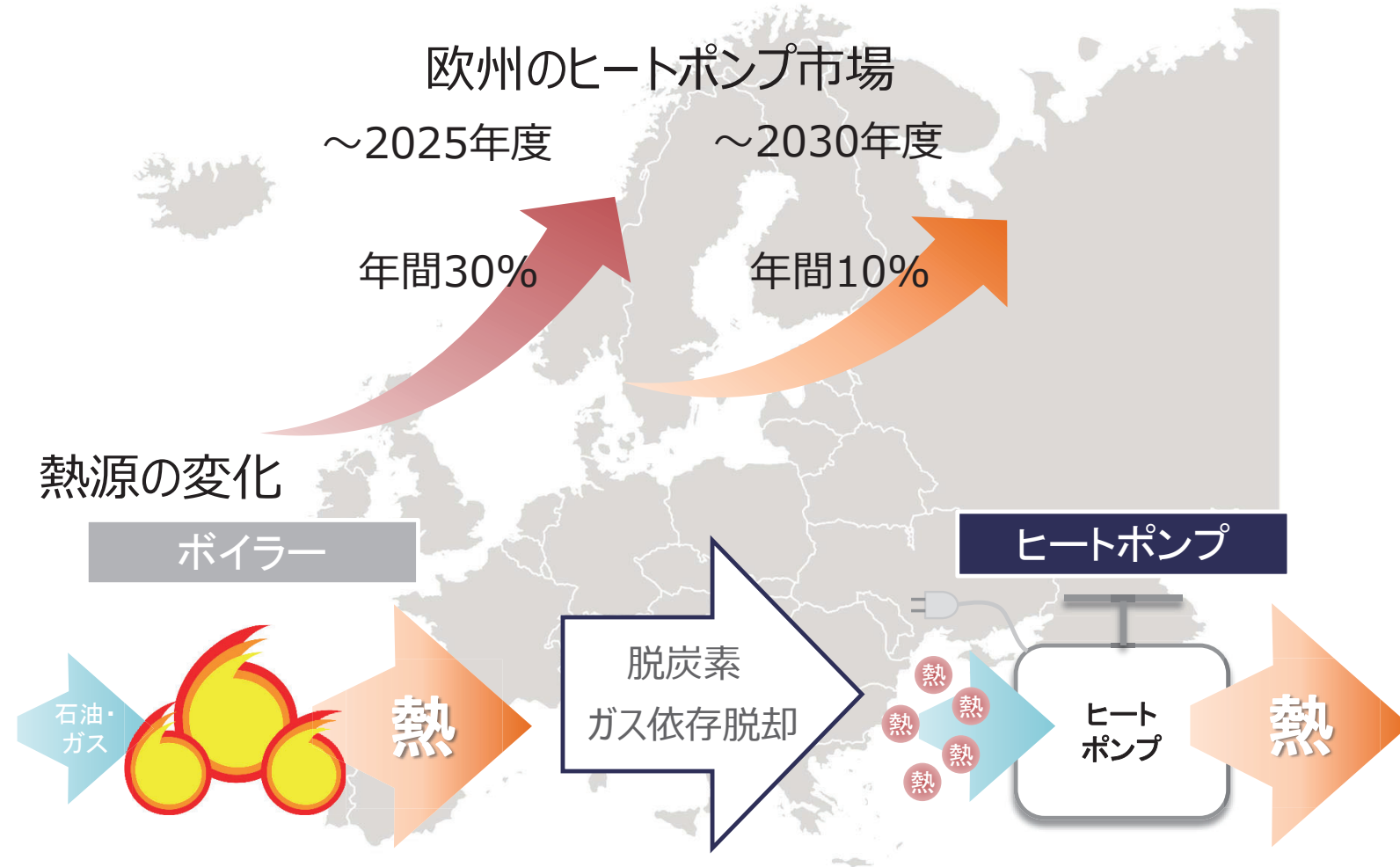
- 世界的な脱炭素化の流れによって、低炭素電化機器の主力であるヒートポンプの注目度が、急速に向上している。
- 当社の「ろう付け型プレート式熱交換器 (BHE) 」は、ヒートポンプ式給湯器等で活用されており、当該製品の販売額も増加基調にある。



株式会社富士経済「ヒートポンプ 温水・空調市場の現状と将来展望 2021」より 当社作成

14-②. ヒートポンプ市場の拡大(欧州)

欧州を中心にヒートポンプの需要が急拡大



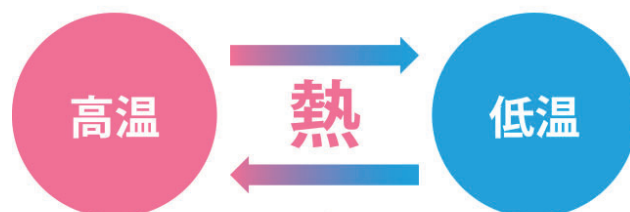
14-③. ヒートポンプの特長

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

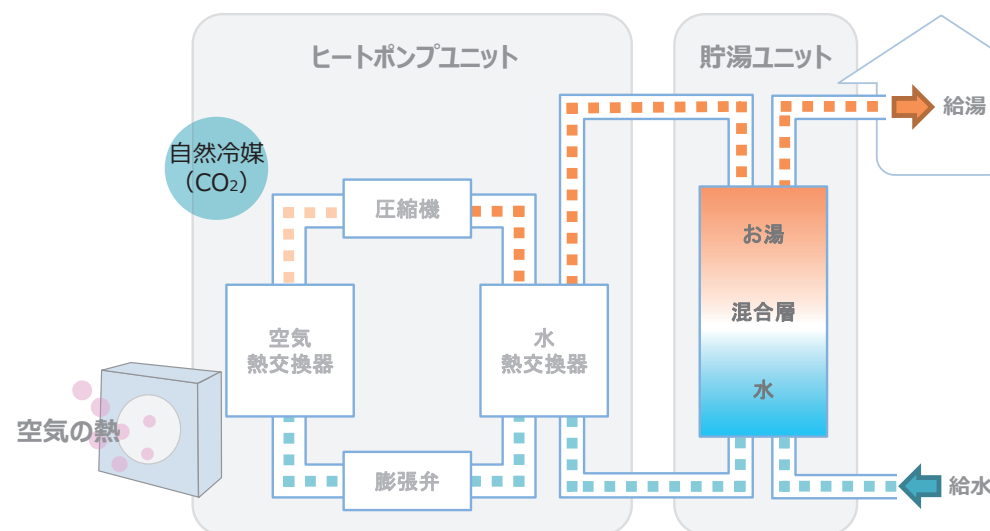
ヒートポンプは燃料を使わずに電気力で温度をコントロール

■ヒートポンプの原理



ヒートポンプは熱の性質を利用して熱を大気中から吸収（大気中へ放出）する。

■ヒートポンプの仕組み



■ヒートポンプの特長

- 電気だけで作動し、燃料を燃やすことによるCO₂の発生がない。
- エネルギー効率が良く、省エネルギー。
- 空気中の熱を利用する再生可能エネルギーとみなされている。

14-④. なぜ当社製品が選ばれるのか？ ～製品の特長～

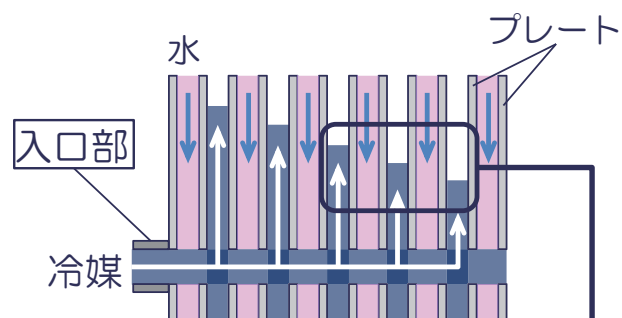
■以下2点の特長を評価頂き、空調機器メーカーからの受注が堅調。

①**冷媒（フロン）の使用量の削減**（当社従来品に比べ、**30%の冷媒使用量削減**を実現）

②**小型・軽量化の実現**（当社従来品に比べ、**45%の軽量化と35%の小型化**を実現）

■上記特徴を実現したキーポイントとしては、当社独自の熱交換器構造と、高度な流体制御技術によって「**冷媒温度の均一性を実現**」したことにある。

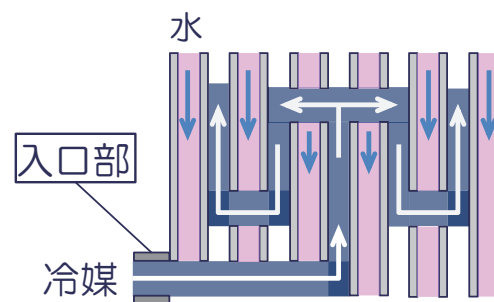
従来品



従来品の課題

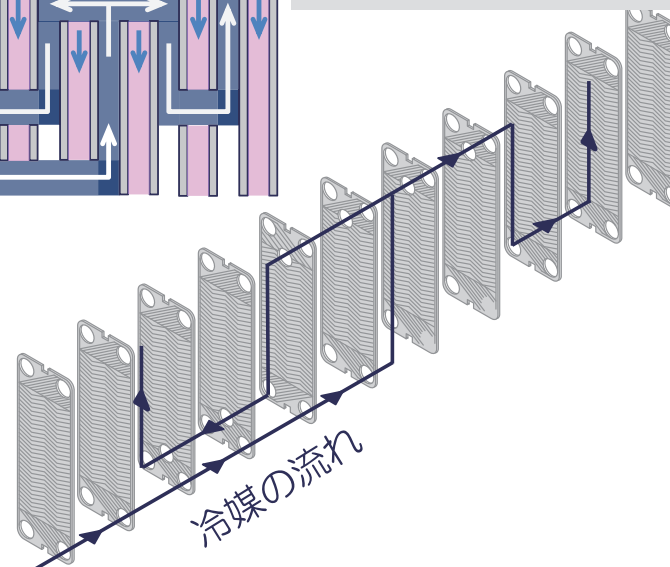
入口部から遠ざかると
冷媒が均一に分配できず、
熱交換率が低下

新規開発製品



新規開発品の特長

冷媒を均一に分配可能



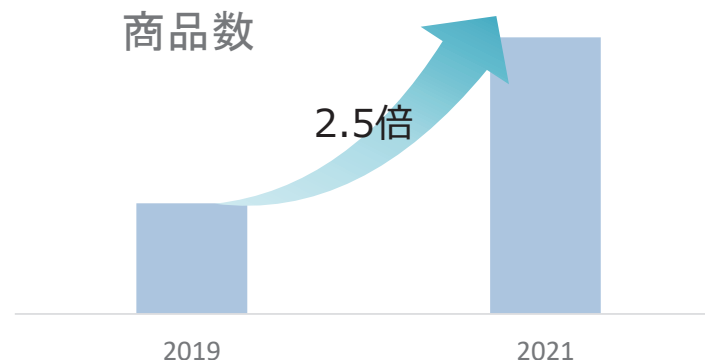
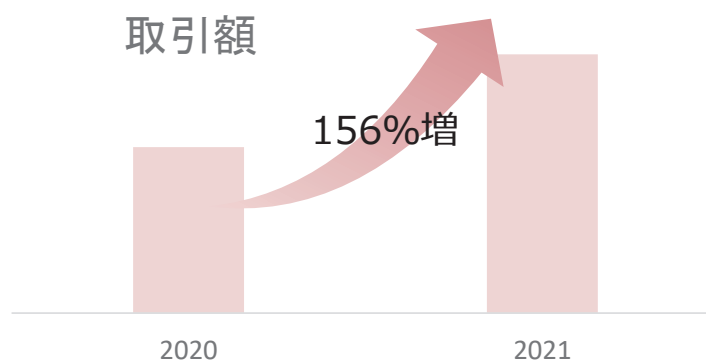
15-①. アジアで拡大するレトルト食品需要

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

ライフスタイルの変化やコロナ禍により食品需要が変化

中国のレトルト食品市場



京東消費状況「2022レトルト食品消費トレンド報告書」より 当社作成

在宅勤務の一般化

生活リズムのスピードアップ

レトルト食品が食の選択肢のひとつに



15-②. 海外向け食品殺菌装置

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

中国、台湾、韓国に食品殺菌装置を販売

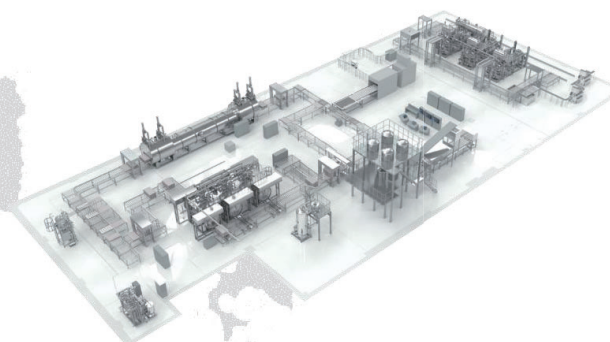
■レトルト殺菌装置や無菌包装米飯製造装置を納入。



高温高圧調理殺菌装置
(RCS)



全自動連続殺菌冷却装置
(リフトスチーマーZ)



無菌包装米飯製造装置

- 中国の商社に試験用殺菌装置を納入。
➡ 現地食品メーカー向けに当社製品の性能をPR。
- 東南アジアにおいてもレトルト食品需要が拡大。
➡ 日本、東アジアで実績のある殺菌装置を提供。

16-①. 多種多様なバルブのラインアップ

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

様々な業種の顧客の利用シーンに合わせ、
個別課題に対応した用途限定弁をラインアップ

化学

製鉄

紙・パルプ

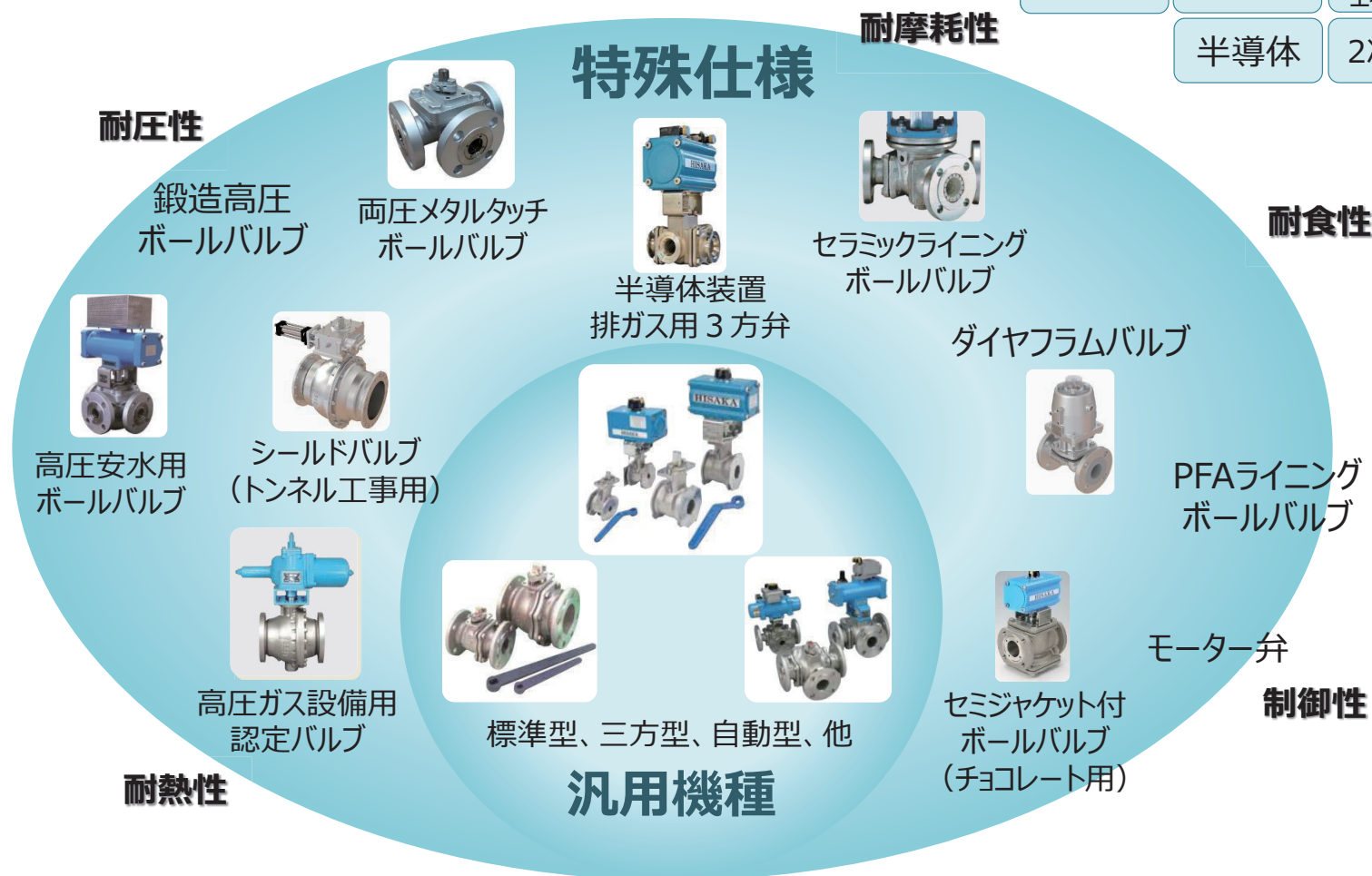
食品

環境

電力・
エネルギー

半導体

2次電池



16-②. 多種多様なバルブのラインアップ

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

新たにダイヤフラムバルブをラインアップ

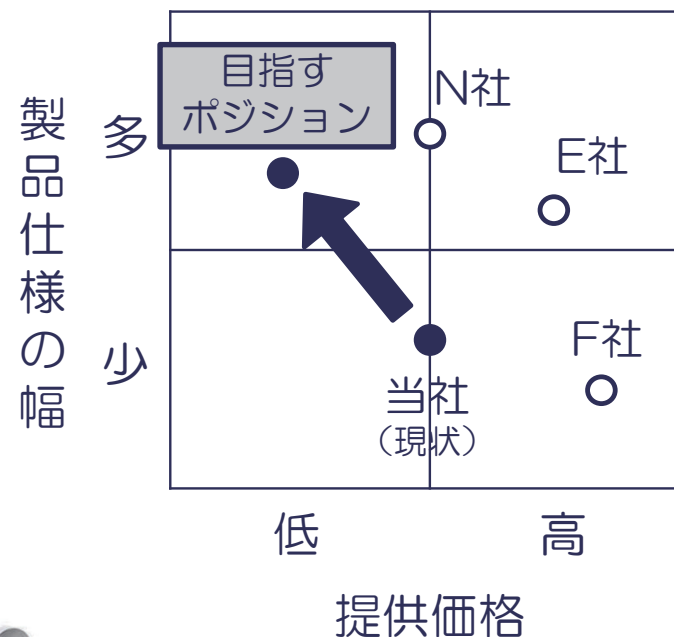


PFAライニング ダイヤフラムバルブ

- 日本の化学メーカーが得意とするファインケミカル分野への販売を計画。
- 様々な口径、アクチュエータをラインアップ。多様なお客様からのニーズにも応える。
- 今後はPFAライニング仕様のボールバルブもラインアップし、より幅広いお客様に対応予定。



ダイヤフラムバルブに関する ポジショニングマップ



17. 連結子会社の統合について

- 当社のプロセスエンジニアリング事業関連の連結子会社であるマイクロゼロ株式会社、旭工業株式会社の合併に向けた方針に合意（2022/11/14リリース）
- 経営資源の集中と有効活用に加え、顧客サービスの向上、業務効率化を図る

(1) 社名	マイクロゼロ株式会社  MICROZERO CO.,LTD.	旭工業株式会社  旭工業株式会社
(2) 所在地	東京都立川市錦町 1 丁目 8 番 7 号	東京都青梅市末広町 2 丁目 9 番地 3
(3) 代表者	代表取締役社長 小林 弘幸	代表取締役社長 杉本 昌弘
(4) 事業内容	サニタリー装置・機器の製造販売及び プラントエンジニアリング事業	食品製造機械の製造及び販売
(5) 資本金	99百万円	10百万円
(6) 設立年月日	2003年 7 月 3 日	1962年 2 月 1 日
(7) 発行済株式数	6,002株	20,000株
(8) 決算期	3月31日	3月31日
(9) 株主	株式会社日阪製作所 100%	株式会社日阪製作所 100%

- 本合併の日程、合併方法の詳細については協議中。
決定次第適宜開示致します。

<お問い合わせ先>

(株)日阪製作所 経営企画本部 経営戦略部

WEB : <https://www.hisaka.co.jp>

e-mail : ir@hisaka.co.jp

TEL : 06-6363-0015

〒530-0057

大阪市北区曽根崎2-12-7 (清和梅田ビル20階)



～ロゴマークの由来～

日本の「**日**」とステンレス (STAINLESS) の「**S**」を組み合わせデザインした。また、丸い形は成熟を表しており、豊かな人間性をもって社員と製品がともに成熟していくようにという願いを込めている。

～社名の由来～

日本の中でも商いの町の代名詞である大阪のような活気あふれる会社になりたいとの願いを込めて、日本の「**日**」と大阪の「**阪**」をとり、「**日阪製作所**」と命名した。

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想に達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合を確認し、利用者の判断によって行ってくださいようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。